

③ 第3委員会

「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」



それでは、第3委員会の意見を発表します。

第3委員会のテーマは、「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは7月23日に^{ひでよし}秀吉清正記念館^{しせつ}の施設見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、何百年も^{ほぞん}保存されていたものを見たり、その中の本当に使われていた^{ひなわじゅう}火縄銃を持ったりしました。このような体験を通して、歴史を学んだり、未来へつなげていけばいいと思います。そして、この^{しりょう}資料を残すためには平和が大切だということがわかりました。

その後、^{わたし}私たちは、^{しせつ}施設見学をしてわかったことや感じたことをもとに、名古屋の歴史を未来につないでいくためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕は、まず第一に、名古屋市民、特に子どもが歴史に触れる機会を多くすることです。第二に、昔の過ちは二度と繰り返さない政治を行うことです。そして第三に、昔のよいところを残して行って、少しでも多くのものを残すことです。

○子ども議員

私は、馬蘭後立兜はかなり邪魔で、相手にも見つけやすかったであろうはずなのに、それでも秀吉たちなどの武士たちは、それを自分からかぶり、上の人たちに認めてもらおうと、出世しようと思立させていました。でも、それには危険もついていたので大変勇気が必要だったと思います。

なので、私は、学校などで先生が人のしたことを教えるだけではなく、そのときその人がどう思ったと思うかをみんなで考えてみるともっと歴史に興味が出てきて、それが続いて名古屋の歴史が未来につながっていくのだと思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、今まで名古屋の歴史についてそんなに考えたことはなかったです。でも、今回のような機会があって、とても印象に残りました。なので、このような記念館がずっとあって、未来の人にも見てもらいたいです。

○子ども議員

^{わたし}私は、名古屋の歴史を未来につないでいくためには、名古屋の歴史に触れる機会をふやした方がよいと思います。例えば、小学校^{たいこう}対抗歴史クイズ大会を開いたり、歴史めぐりツアーを^{きかく}企画したりして、多くの小学校の人たちが楽しんで歴史を学ぶチャンスがあるといいと思います。

また、図書館などに置いてある本などを読んでみるだけでいろんなことがわかると思います。それでも、^{むずか}難しそうな本は読みたくないという人は、歴史^{まんが}漫画などを読んでみるとよいかと思います。



○子ども議員

信長が言う天下布武^{てんかふぶ}は、自分が持つ武力^{ぶりょく}などの力で天下^{とういつ}を統一することです。でも、本当にそうなったら反乱^{はんらん}が起こるかもしれません。仮に、天下布武^{てんかふぶ}が現在^{げんざい}、2013年まで続いていたとしても想像^{そうぞう}がつきません。だけど、僕は天下布武^{てんかふぶ}については反対です。なぜかという、自分が持つ力ではなく、人、一人一人の力で国を治める方がいいと思うからです。それでみんなが意見を出し合い、その意見を県や国に役立てていけると思うからです。

○子ども議員

名古屋の歴史を未来につないでいくためには、戦争をなくすことだと思います。

昔の戦争で名古屋に空襲^{くうしゅう}があり、焼け野原になってしまいました。しかし、辛うじて昔の貴重^{きちょう}なものは残ったおかげで、今、僕^{ぼく}たちはそれらを見ることができます。もしもこのような戦争がまた始まってしまったら、これらはなくなるかもしれません。歴史を知る上で大切なものが失われないようにするためには、戦争をなくし、平和な世の中にしないといけないと思います。そして、名古屋の歴史を未来につないでいきたいと思っています。

○子ども議員

私は、火縄銃を実際に持ってみて、とても重いことに驚きました。
このように、見るだけでなく実際に体験することで興味がわき、名古屋の歴史について詳しく調べたり、もう一度振り返るきっかけになると思いました。そして、余り触れることの少ない名古屋の歴史に関する体験をたくさんし、秀吉や信長が行ったような、今までにない手法や考え方を柔軟に取り入れられたらよいと思います。

○子ども議員

名古屋生まれの武将になった人たちは、名古屋を守るために勉強や運動などを一生懸命頑張ったと思います。でも、今の子どもたちは余り勉強もしないで、漫画を読んだりゲームをするだけです。このままではいいとは思いません。なので、名古屋の武将の人たちを敬い、武将の人たちのした行動に関心を持つべきです。そうすれば、少しでも多くの子どもたちが動いてくれるかもしれないからです。

○子ども議員

名古屋には有名な武将ぶしょうが多くいます。なので、歴史ふに触れ合えることが多いです。なので、歴史しせつに関係のある施設しせつをふやせば、もっと歴史ふに触れ合えることが多くなると思います。

○子ども議員

わたしわたしは、今回ひでよし秀吉清正記念館を見学して、特に秀吉ひでよしの馬蘭ぼらん後立兜しろだてかぶとと清正じゃのめもんの蛇目紋ながえぼし長烏帽子なりかぶと形兜かぶとが印象に残りました。各ぶしょう武将ぶしょうに合った華はなやかな細工はなが美しく、これが手づくりでつくられたと思うと、当時の人たちはとても高い技術ぎじゅつを持っていたことがわかりました。そして、どうやってつくったのか知りたくなりました。このような施設しせつで多くの人に過去かこの技術ぎじゅつや知識ちしきを伝えることで、名古屋の未来の産業につながると思います。



○子ども議員

私は、施設見学で歴史的価値のあるものを見たりさわったりして、今残っているものを大切に保管してほしいということと、学校での社会科見学に行って歴史のすばらしさや興味を持ってもらうような機会をふやすべきだと思います。本で見たり読んだりするより、実際に見たり、時にさわったりできれば、もっと興味を持つことができると思います。また、各地域に残っている歴史を学んだり保存して、未来につないでいけばいいと思います。

○子ども議員

秀吉清正記念館では、戦国時代の武将について学習、体験することができ、知識を深めることができました。名古屋市は、織田信長、豊臣秀吉など有名な武将ゆかりの地で、資料も豊富にあるため、それらを大切に保存して身近な場所で活用することが大切だと思いました。例えば、皆さんが使う家庭用のごみ袋のデザインを三英傑にするのはいかがでしょうか。また、歴史のテーマパークをつくり、みんなが遊びの感覚で歴史に触れられるようにすることもよいと思います。

わたし
私たち第3委員会は、このようなことが名古屋の歴史を未来につないでいくために必要だと考えました。

これで、第3委員会の発表を終わります。

■ 日比教育子ども委員長の答弁

議長さんのお許しをいただきましたので、発表
に対する答弁をさせていただきます。

まず、子ども委員長さん、そして子ども副委員長さん、第3委員会を大変活発に、そして円滑に
まとめていただきましたことを心から感謝を申し上げたいと思います。そして、それに協力して
みんなで活発に議論をできたこと、とても見ていて
すばらしいと思いました。

第3委員会では、「歴史をつなぐまちづくり」というテーマで秀吉清
正記念館を見学して、そこで皆さんがそれぞれ感じたことをまとめて
いただきました。

歴史をつなぐまちづくり、皆さんが発表していただいた中で戦争とい
うことにも多く触れていただきましたし、そして、そういう技術の高さ、
そして知識を伝えていくことの大切さということの提言をいただいで
います。

この中で触れていただきました戦争というもの、よく人間の歴史は戦
争の歴史だということを言われることがありますし、そして歴史は繰り
返されるとい言葉はよく使われています。しかし、私たちが歴史を学
ぶ意味というのは、こういう負の歴史、戦いの歴史を後世に伝えてい
て、そして同じ過ちを繰り返さないということだと思ひます。そして、



ほかの発表の中にありましたいい^{ぎじゅつ}技術、そして^{ちしき}知識を後世に伝えていく
ということは、今いろんな^{ぎじゅつ}科学技術も発達して、昔は空を飛ぶこともで
きなかった。そして^{うちゅう}宇宙へ行くことなんでもっとできなかった。そうい
うものをいろんな人の努力で、そして^{ちしき}知識の積み重ねでどんどんみんな
が^{そうぞう}創造して、もっといいなと思う世の中をつくり上げることができてい
ます。そういうことを^{みな}皆さんは気づいて、そして^{ていげん}提言もしていただきま
した。^{みな}皆さんが今回気づいたことを、^{わたし}私たち教育子ども委員会、そして
この名古屋市でも、きちんと^{みな}皆さんにもっと^{きょうみ}興味を持って歴史を学んで
もらえるような^{かんきょう}環境をつくるために活用させていただきたいと思います。

そして、きょういただきました^{ぶくろ}ごみ袋の^{さんえいけつ}デザインを三英傑にするのは
いかがでしょうかとか、歴史めぐりツアー、あるいはクイズ大会、そん
ないろんな意見もいただきましたので、もっとこれからよりよい世の中
をつくっていけるような、歴史を後世につないでいくこの名古屋市づく
りに^{わたし}私たちが努力していきたいと思います。

本当に^{みな}皆さん活発な意見をいただきましてありがとうございます。
これをもって^{とうべん}答弁にかえさせていただきます。

